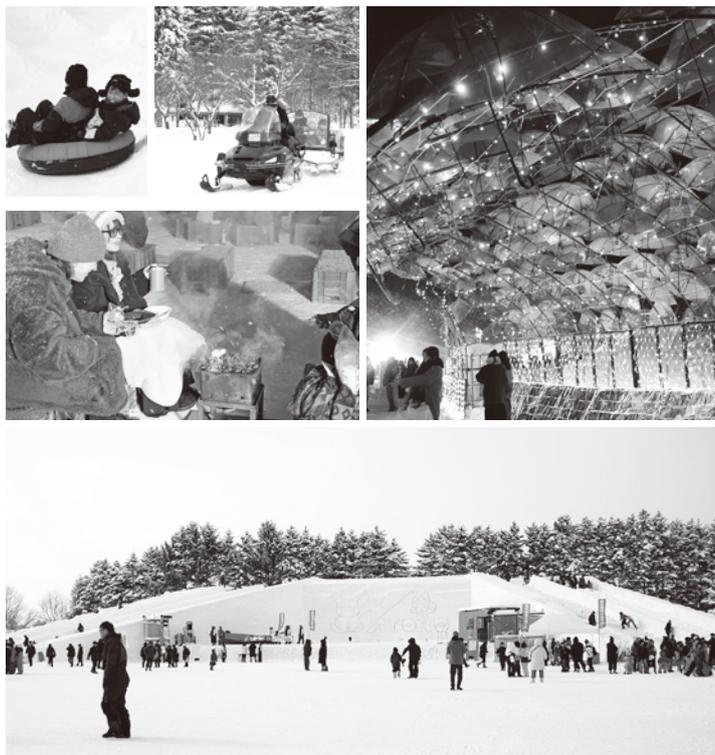




なよろ雪質日本一フェスティバル



旧豊西小学校グラウンド特設会場で、2月6日(金)から8日(日)まで「なよろ雪質日本一フェスティバル」を開催しました。

会場では、26機のドローンによる幻想的な夜空の演出と色とりどりのイルミネーションが広がり、雪と光が織りなす非日常的な空間が来場者を迎えました。

日中は、子どもたちに人気の巨大すべり台や、迫力ある世界最大級の雪の巨大迷路、スノーモービル遊覧など、幅広い世代が楽しめる体験が用意され、多くの笑顔でにぎわいました。8日(日)には全日本雪上5色綱引き大会が行われ、選手たちの力強い戦いに大きな声援が送られました。

また、極寒焼肉フェスや売店では温かいグルメが来場者の体を温め、子ども向けワークショップも実施されるなど、家族連れでも一日中楽しめる内容となり、冬の名寄の魅力を存分に感じられる3日間となりました。



全国高等学校スキー大会



2月3日(火)から5日(木)まで、名寄ピヤシリシャンツェとなよろ健康の森クロスカントリーコースで、全国高等学校スキー大会(スペシャルジャンプ・ノルディックコンバインド競技)が行われました。名寄市関係者では、はせがわ長谷川^い瑠己さんが男子スペシャルジャンプで優勝。きくち菊池^さ楼紗さんは女子スペシャルジャンプに出場するとともに、女子ノルディックコンバインドで5位入賞と健闘し、会場から大きな声援が送られました。



東小スノーランタンフェス 北の天文字焼き



2月7日(土)、名寄東小学校グラウンドでスノーランタンフェスティバルが行われました。地域の皆さんが雪を切り出してランタンづくりに取り組み、夕暮れとともに会場一帯にやさしい灯りが広がりました。開会式後にはランタンの点灯が行われ、幻想的な雰囲気になりました。

その後、太陽の丘では「北の天文字焼き」が実施され、燃え上がる炎が夜空に浮かび上がり、来場者の心に残るひとときとなりました。